



ふるさと

トマトはナスの仲間で、南アメリカのアンデス地方がふるさとです。日本には17世紀末に伝えられました。

すがた

果実の大きさが2～3cm程度、重さが10～20g程度の小型のトマトです。赤色のものが代表的ですが、最近では黄色やオレンジ色、洋ナシ形、鉢植え用や超小型のマイクロトマトなど、さまざまな種類があります。



まめちしき

ミニトマトは比較的新しい野菜で、食生活の変化により、サラダやお弁当のおかずなどに使われるようになり20年位前から食卓に並ぶようになりました。

ここがすごい

ミニトマトは緑黄色野菜で、「生活習慣病の予防効果のある」リコピンを多く含んでいます。ちなみに、トマトの赤い色はこのリコピンによるものです。

産地紹介

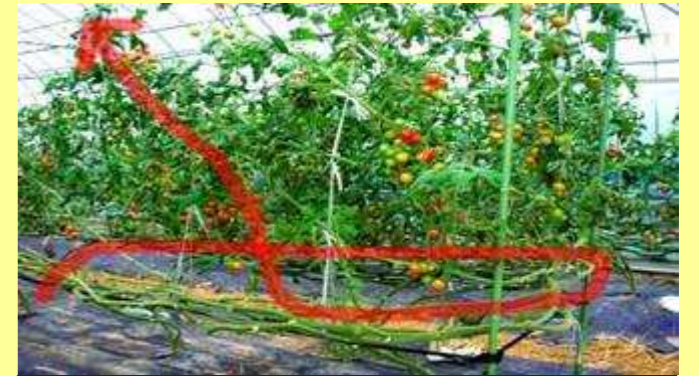
輪島市、珠洲市、能登町、穴水町の奥能登全域で栽培されています。栽培面積は約2.5ヘクタール、農家数は83戸、出荷量は81tです(平成21年)。

しゅうかく
ミニトマトの収穫まで



苗は4月から5月にかけてハウスに植えられます。収穫は早いもので6月上旬から始まり、11月いっぱいまで行われます。

ミニトマトは6ヶ月以上にわたって栽培するため、斜め横に茎を伸ばします。なんと、5m以上の長さになります！



茎はこんなふう伸びているんだよ



ミニトマトは1房当たり20個、多いときには50個以上もなります！毎朝、1個ずついねいに収穫します。

ミニトマトはベルトコンベアを使って仕分けされます。パックに詰めて県内や関西地方に出荷されています。

